

令和7年度事業計画書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人石見銀山資料館

1 事業実施の方針

来年度が資料館開館50周年、再来年の石見銀山遺跡の世界遺産登録20周年といった大きな周年事業を控えていることから、当該年度はそれに向けた準備をしっかりと行なっていきたい。また、「大森の町並み関連施設」の指定管理も最終年度となるため5か年の集大成としての成果を上げることと、その上で次期の受託に向けて万全の用意を進めていきたい。さらに、財務面でもこれまで一定の黒字は達成できてはいるが、来館者数の伸び悩み、諸物価の高騰、人手不足や賃金の上昇などマイナス面の要素も多々あるため予断を許さない状況と言える。これらの問題を乗り越え、将来にわたって持続可能な運営が達成できるような基盤づくりをしっかりと行なっていきたい。

次に具体的な方針活動について述べると、資料館事業①常設展における展示の魅力化、②バーチャリオングループシステムを活用した「とどける博物館」の充実、③バーチャルミュージアムの事業化、④旧代官所遺構である門長屋を活用した「門長屋カフェ」の充実と集客力の向上、⑤周年事業に向けた準備、などが柱となる。特に③については大田市からの補助金交付が予定されていることから石見銀山の新たな魅力発信に加え、将来的な事業化に向けた成功事例に繋げていきたい。

指定管理事業では当該年度は新たに2名の常勤職員を採用し活動の充実を図るとともに、次期の指定管理の受託を視野に入れた体制の刷新を進めていきたい。特に指定管理事業は法人の財務を支える重要な柱であるが、資料館と同様入館・宿泊者数の伸び悩みもある。それらの課題については①展示内容の魅力化、②体験イベントの開催による集客力の強化、③施設活用の最大化、④情報発信、などを進めて行くことで解決したい。

来年度資料館は開館50周年を迎える。大森町の先人の方々の英断と努力の上に当法人が存在している。「住民立」が単なる掛け声になることなくこれが真となるため、大森町の住民の方々との新たな関係構築に向けた取り組みも行っていきたい。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の日時、場所、	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(単位：千円)
石見銀山資料館の管理運営事業	入館券の販売、展示解説、石見銀山遺跡のガイダンス	通年 石見銀山資料館	一般 児童・生徒	6,109
大森の町並み関連施設指定管理事業	熊谷家住宅・旧河島家・宗岡家の管理運営	通年 熊谷家、旧河島家 宗岡家	一般 児童・生徒	27,720
書籍・物品等の販売事業	書籍・ミュージアムグッズ・土産等の販売	石見銀山資料館 通年	一般 児童・生徒	450
その他法人の目的の達成に必要と認められる事業	体験事業、受託事業	石見銀山資料館 通年	一般 児童・生徒	3,462